

中高一貫教育だより

軽米地域中高一貫教育 ～軽米中学校より



「ゆとりある6年間で、地域で生徒を育てていく」という視点で、平成13年度から地域連携型の中高一貫教育が始まり、今年で16年目を迎えました。

軽米地域中高一貫教育協議会では、①授業交流は「数学」「英語」においてティーム・ティーチングを行う ②部活動や特別活動において交流を推進する ③中高6年間を見通した教育課程の検討を行う等、中高教員交流をはじめ主な事業・活動を推進しています。成果としては、多くの軽米中学校卒業生が進学する軽米高校の先生方が中学校段階の生徒を把握できることです。中学生個々の学習の定着の状況や人間関係等が分かり、高校入学後の学習指導や将来を見据えた進路指導等に効果的に生かすことができます。また、部活動交流では、レベルの高い姿に触れることで中学生にとって大きな刺激となっています。今年度も様々な場面で成果が現れ、今後の中高一貫教育が益々活発に行われていくことを期待します。今回は、授業交流の様子と夏休み中に行われた部活動交流の様子を紹介します。また、授業交流でご指導いただいている軽米高校の先生方からのコメントを紹介します。

☆授業交流の様子☆



米沢先生：3年数学

軽米高校 米沢崇史先生：2年ぶりに交流授業に参加します。皆さんの数学に対する興味関心が向上するよう、力になりたいと考えています。よろしくお願いします。

軽米高校 鎌田忠佳先生：今年度からお世話になっております。中学校の数学には、高校の数学と関連しているところがたくさんあります。どんな些細なことでもいいので、疑問に感じたらすぐに質問してくれると、とても嬉しいです。よろしくお願いします。



鎌田先生：3年数学



富樫先生：3年英語

軽米高校 川村紅子先生：今年もお世話になります。今みなさんが取り組んでいる英語全てが、高校の授業の土台になります。少しでも“？”と感じたら、遠慮しないで質問してください。また大きな声での音読は、英語力をアップさせる近道です。間違いを恐れず、どんどん英語を使ってみてください。授業に参加するたびに、みなさんの英語力がアップしていると感じています。

軽米高校 富樫奈津子先生：今年から初めてこの中高連携授業に参加しています。中学生の皆さんと定期的に接することができる貴重な機会だと感じています。“わからないこと”が“わかるようになりたい”というまっすぐな気持ちが自分の力を伸ばすためにはとても重要です。そのような姿勢がある皆さんですので、これからのさらなる成長を期待しています。



川村先生：3年英語

夏休み中の部活動交流

夏休み中に軽米高校の剣道部と家庭部の生徒が軽米中学校を訪問し、部活動交流が行われました。熱心な高校生の指導を受け、少しでも多くの事を吸収しようと中学生は真剣に臨んでいました。また、吹奏楽部の練習に軽米高校の先生方が来校し、専門的に技術指導が行われました。前よりも美しく演奏できるようになりました。



剣道部の交流の様子



吹奏楽部指導の様子



家庭クラブとの交流の様子

この他にも盛んに交流が行われています。次号以降で紹介したいと思います。